

SSRI 20-10



金融マンの目で見、識る資料

平成20年度上期 (20年4月～20年9月)

東京 地方裁判所 競売物件 [開札・落札]分析

開札・落札物件編

平成20年12月

不動産金融のシンクタンク
株式会社 三友システムアプレイザル

不動産金融研究所

SANYU SYSTEM RESEARCH INSTITUTE (SSRI)

TEL 03-5213-9750

FAX 03-5213-9760

このレポートは地方裁判所が公表した情報に基づいて作成しております。件数、期日、金額等については、現時点のデータと差異がある場合がございますのでご注意ください。また、注意して読んでいただきたい項目については、弊社小冊子「レポートの見方」もございますので、ご希望の方は上記までお申出下さい。

平成 20 年度上期（平成 20 年 4 月から平成 20 年 9 月まで）に、東京地方裁判所において、競売の開札日が到来した物件の分析を行った。開札期日到来物件数なので、地裁の発表する競売申立受理件数とは異なる。

目次

☆開札動向

I 売却種別別開札件数	2
II 受理年別開札件数（暦年）	3
III 買受可能価額	3

☆落札動向

IV 落札件数・落札件数率	4
★売却基準価額未満での落札状況	5
V 落札物件に対する応札者数	5
★個人落札状況	7
★落札価額上位状況（個人・法人）	7
VI 落札価額、落札価額対買受可能価額倍率	8
VII 落札価額対市場価額倍率	9
VIII 競売取り下げ状況	10

☆まとめ

○開札状況

- ・開札件数は長期的には減少傾向であったが、今期は「マンション」の大幅増加があり、総数は僅かに増加した。

○落札状況

- ・総応札者の激減・落札率急落・落札倍率低下と、競売市場の活性化対策を実施し状況好転する以前の H15 年水準に近くなった。